

相模原市長 加山俊夫殿

2016年11月17日
さがみはらの宝、みんなの公民館を守る会
共同代表：中屋重勝

要請書

公民館の有料化をやめてください

相模原市は現在、公民館の使用有料化を目指し、各公民館の運営協議会にその案の説明を行っています。公民館の使用有料化は、公民館の機能と運営を大きく変更するものであり、すべての市民に関わる重要な問題です。

相模原市の公民館はそれぞれの地域において、社会教育機関としての役割を果たしてきました。各種の講座やまつりなどの公民館企画を豊かに行き、地域の文化、スポーツ、趣味、学習などのサークルが、その活動の場として公民館を利用し、地域のコミュニティ形成の核となってきました。近年は高齢化が進む中で、高齢者がひとりぼっちにならないようにと、公民館でのふれあいに大きな意義を見出してきたことも重要です。こうした社会教育としての公民館活動に、「受益者負担」の考え方は全くなじまないものです。

社会教育としての公民館活動の発展、公民館の在り方は、全市民にとって憲法の保障する基本的人権の問題でもあります。

「有料化となれば活動を継続できない」というサークルや団体、個人も少なくありません。老若男女が無料で文化活動に携わることができる相模原市の公民館は市民の宝であり誇りです。公民館の使用有料化の方針を撤回してください。

全市民対象のきめ細やかな説明会を開いてください

公民館の今後をどうするか、特に利用の有料化は一部の人だけの問題ではありません。もちろん自治体としての相模原の市政の根幹に関わる問題です。現在、各公民館の運営協議会に説明を行っていますが、市民にはほとんど知らされていません。その説明ではあたかも決まったことであるかのように受け止められることもあったようです。また傍聴を希望する市民の人数を制限するところもありました。このような市政の根幹に関わる重大問題についてはすべての市民対象の説明会を開き、広く市民の声を聞くことが重要ではないでしょうか。

市民の声を十二分に聞く場として公民館を利用するすべての団体と全市民対象の説明会をきめ細かく開催することを強く求めるものです。

さがみはらの宝、みんなの公民館を守る会（神奈川土建相模原支部内）
〒252-0239 相模原市中央区中央 2-4-10